

一年の動き

- 2019年4月 新入職員6名の入庫式を行いました。
- 2019年5月 「山口県しんきん合同ビジネスフェア2019」を県内の信用金庫合同で開催致しました。
- 2019年6月 「信用金庫の日」地域貢献活動の一環として、職員による献血活動を実施致しました。
- 2019年7月 サマーキャンペーン「薩長土肥連携定期預金」の募集を行いました。
- 2019年11月 ウィンターキャンペーン「とうしんウィンターキャンペーン」の募集を行いました。

沿革

- 1991年4月 柳井信用金庫（1950年5月設立）、徳山信用金庫（1918年6月設立）、下松信用金庫（1948年12月設立）の3信用金庫が合併により新生「東山口信用金庫」として発足。
- 1992年4月 徳山支店、下松支店が日本銀行歳入代理店の承認を受ける。
- 1992年8月 平生支店新築（同一場所）オープン。
- 1992年12月 預積金残高1,000億円達成。
- 1993年11月 室積支店新築（同一場所）オープン。
- 1995年1月 富田支店、福川支店、光支店が日本銀行歳入代理店の承認を受ける。
- 1995年4月 ATM祝日稼働開始。
- 1996年1月 月丘町支店、栄町支店が日本銀行歳入代理店の承認を受ける。
- 1996年9月 預積金残高1,100億円達成。
- 1996年12月 遠石支店、徳山北支店が日本銀行歳入代理店の承認を受け、全店指定となる。
- 1997年2月 徳山支店ほか8店舗が西日本建設業保証（株）の受託業務取扱店の承認をうけ、全店指定となる。
- 1997年5月 パルティ・フジ出張所（ATM）開店。
- 1997年11月 ロックショッピングタウン平生出張所（ATM）開店。
- 1998年1月 下松支店新築（同一場所）オープン。
- 1998年4月 堀本忠男理事長就任、三島元理事長相談役就任。
- 1998年8月 本部にLANシステム導入。
- 1998年10月 サンリブ下松出張所（ATM）開店。
- 1999年3月 郵貯ATMとの相互接続取扱開始。
- 1999年4月 ハイパーモールメルクス柳井出張所（ATM）開店。
- 2000年12月 全国のしんきんATM平日、土曜日（～14:00）のご利用手数料無料の「しんきんZERO（ゼロ）ネットサービス」を開始する。
- 2001年4月 設立10周年を迎える。
- 2001年7月 朝日監査法人（現、有限責任 あずさ監査法人）と監査契約を締結する。
- 2001年10月 山口県下10金庫と山口銀行がATM平日、土曜日（～14:00）ご利用手数料無料「YS.ネットサービス」を開始する。
- 2003年4月 個人向けインターネットバンキングの取扱いを開始。
- 2003年6月 個人向け国債の募集の取扱いを開始。
- 2003年7月 IYバンク銀行とATMの提携を開始する。
- 2003年9月 マックスバリュ田布施出張所（ATM）開店。
- 2004年1月 法人向けインターネットバンキングの取扱いを開始。
- 2006年3月 <とうしん経営塾>（柳井地区）を発足。
- 2007年3月 由宇支店新築（同一場所）オープン。
- 2009年4月 柳井南支店開設。
- 2010年6月 児玉正史 理事長就任、堀本前理事長非常勤相談役就任。
- 2011年4月 設立20周年を迎える。
- 2012年11月 防府信用金庫との対等合併により、新生「東山口信用金庫」として新たにスタート。
- 2012年11月 嶋本博 理事長就任。
- 2014年11月 宮市支店新築（同一場所）オープン。
- 2015年1月 周南支店（旧橋本町支店）移転オープン。
- 2015年3月 光支店新築移転オープン。
- 2015年5月 嶋本理事長 旭日双光章受章。
- 2016年2月 山口県と「地方創生に係る包括連携協定」を締結。
- 2016年3月 薩摩、長州、土佐、肥後にゆかりのある金融機関と共同で「薩長土肥包括連携協定」を締結。
- 2016年7月 下松支店移転オープン。
- 2016年7月 柳井市と「地方創生に係る包括連携協定」締結。
- 2017年8月 当金庫営業地区を山口県山口市（旧阿武郡阿東町を含まない）、防府市、周南市、下松市、光市、柳井市、岩国市及び熊毛郡、大島郡、玖珂郡から、山口県全域に変更。
- 2018年5月 三田尻支店を中関支店内に店舗内店舗の形態で移転。
- 2018年6月 山口県信用保証協会と包括連携協定に関する覚書を締結。
- 2018年10月 本支店、他金融機関あて即時振込の取扱時間の拡大（モアタイム）開始。
- 2018年12月 株Origamiとの提携によるスマホ決済サービスOrigami Payの提供を開始。
- 2019年6月 松原正雄 理事長就任、嶋本前理事長 非常勤相談役就任。
- 2019年9月 福川支店を富田支店内に店舗内店舗の形態で移転。
- 2019年11月 出資証券のペーパーレス化（不発行）を開始。
- 2020年4月 とうしんアプリ通帳の取扱いを開始。

事業概況

当金庫はコンプライアンスとリスク管理を重視した業務運営を基本として、地域の皆様方との絆を深め、信頼・信用・期待に応えられる金融機関として、預金・貸出金の増強を図り、収益力の強化に取り組んで参ります。

● 預 金

流動性預金は期首から22億円増加したものの、定期性預金において公金大口定期預金の満期流出や過去のキャンペーン定期預金の満期解約等で39億円減少し、全体では期首比16億円減少して2,048億円となりました。

● 貸出金

事業先や個人等への貸出を積極的に推進し、営業地区内の貸出残高及び貸出先数は順調に増加したものの、金利リスクの軽減措置として金融機関向けローンを22億円減少させたことで期首より15億円減少し907億円となりました。

● 有価証券

新規投資においては安全性と収益性のバランスに配慮し、社債等債券と投資信託等その他の証券を主体として購入を行いました。一方、満期償還や金利低下局面で債券の売却、ポートフォリオの機動的な入替え等を実施した結果、期末残高は前期比12億円減少し706億円となりました。

● 損 益

金融機関の本来業務での収益力を示す業務純益は273百万円となり、長期金利の低下による貸出金利息収入の減少等があったものの、経常利益312百万円を計上することができました。この結果、税引前当期純利益は315百万円となり、住民税等を考慮した結果313百万円の当期純利益となりました。

● 出資金及び会員数

出資金の期末残高は801百万円となりました。また、会員数は20,740名となりました。

最近5年間の主要な経営指標の推移

| | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | |
|------------------------|-----------|--------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 経常収益 | 3,531,976 | 千円 | 3,324,261 | 3,322,631 | 3,174,381 | 3,049,864 |
| 経常利益 (又は経常損失(△)) | 263,940 | 千円 | 283,481 | 300,361 | 341,905 | 312,864 |
| 当期純利益 (又は当期純損失(△)) | 239,472 | 千円 | 282,254 | 280,428 | 317,652 | 313,694 |
| 出資総額 | 799 | 百万円 | 793 | 784 | 777 | 801 |
| 出資総口数 | 1,599 | 千口 | 1,587 | 1,568 | 1,554 | 1,603 |
| 純資産額 | 9,107 | 百万円 | 9,246 | 9,221 | 9,846 | 9,460 |
| 総資産額 | 221,299 | 百万円 | 217,994 | 219,639 | 218,997 | 216,609 |
| 預金積金残高 | 209,092 | 百万円 | 205,954 | 207,875 | 206,540 | 204,876 |
| 貸出金残高 | 91,000 | 百万円 | 91,393 | 92,351 | 92,261 | 90,744 |
| 有価証券残高 | 58,646 | 百万円 | 66,245 | 70,924 | 71,909 | 70,658 |
| 単体自己資本比率 | 10.47 | % | 10.50 | 10.62 | 10.75 | 10.56 |
| 出資に対する配当金 (出資1口当たり) | 20 | 円 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| 役員数 | 15 | 人 | 13 | 13 | 13 | 12 |
| うち常勤役員数 | 9 | 人 | 7 | 7 | 8 | 7 |
| 職員数 | 259 | 人 | 249 | 249 | 246 | 236 |
| 会員数 | 21,176 | 人 | 21,037 | 20,851 | 20,671 | 20,740 |